

国内初！地方自治体による、「観音」がテーマの都内情報発信拠点
芸術の街“東京・上野”にオープン

びわ湖長浜 KANNON HOUSE

東京にある、長浜の観音堂



琵琶湖の北東に位置する長浜市は、古くから観音信仰が篤く、人々の手によって守り継がれてきた観音像が、今も数多く点在する“観音の里”です。

長浜産の檜材で厨子に見立てて造られた館内中央の「観音堂」には、長浜からお出ましいただく観音像1体を約2か月交代で展示。モノトーンの静謐な空間で、日常から離れ、ゆっくりと観音像と向き合うことができます。また、ギャラリースペースでは、長浜市の観音像についての史料や映像、市の観光情報などを展示しています。

びわ湖長浜 KANNON HOUSE

東京都台東区上野2丁目14番27号

上野の森ファーストビル1F

Tel.03-6806-0103 Fax.03-6806-0243

<http://www.nagahama-kannon-house.jp/>



京成「京成上野駅」より、徒歩1分

JR／東京メトロ「上野駅」より、徒歩2分

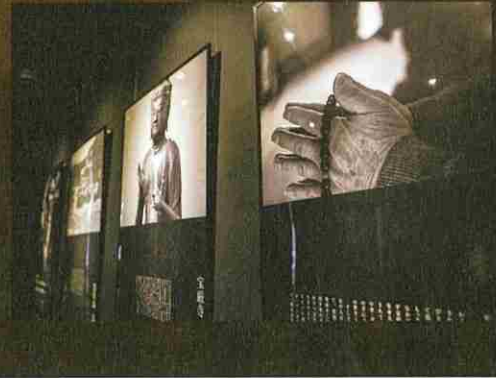
びわ湖長浜
KANNON
HOUSE



「びわ湖長浜 KANNON HOUSE」が建つ台東区上野周辺は、美術館・博物館等が集積する文化芸術の薫り高いエリア。

上野のシンボルである「不忍池」は、江戸時代、寛永寺の開祖・天海が琵琶湖に見立て、竹生島になぞらえた弁天島（中之島）を築かせたという歴史を持っています。

長浜市とのゆかりが深く、親和性の高いこの上野の地で、「観音の里・長浜」が醸し出す精神文化を、千年の時を超えて受け継がれてきた信仰のこころを発信します。



ごあいさつ

皆さんは、「長浜市」をご存じでしょうか。
長浜市は、東京から在来線と新幹線で約二時間半。
日本一大きな琵琶湖の畔にあり、自然の恵みと文化の薫り豊かなところです。
そして、古くから観音信仰が篤く、村人たちの手によって大切に守り継がれてきた130以上もの観音像を有する“観音の里”です。

KANNON HOUSE のコンセプトは、「東京にある、長浜の観音堂」。
長浜の“本物”の観音さまと出会い、そのお姿を通して、長浜の暮らしとそこに住む人々の営みを感じていただければと思います、大切な観音さまを心込めて送り出しています。

心ゆくまで、安らぎのひと時をお過ごしください。



長浜市長 藤井勇治



びわ湖長浜 KANNON HOUSE

東京都台東区上野2丁目14番27号 上野の森ファーストビル1F

Tel.03-6806-0103 Fax.03-6806-0243

<http://www.nagahama-kannon-house.jp/>

入館料：無料 休館日：毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）

開館時間：10:00～18:00 構成：観音堂／ギャラリー 面積：約70㎡



観音の里の 祈りとくらし展Ⅱ

— びわ湖・長浜のホトケたち —

2016年

会期 7月5日(火) — 8月7日(日)

会場 東京藝術大学大学美術館 [東京・上野公園]

午前10時～午後5時(金曜日は午後8時まで) 入館は閉館の30分前まで

休館日 月曜日(ただし7月18日は開館)、7月19日

主催 東京藝術大学、滋賀県長浜市

観音の里の 祈りとくらし展Ⅱ

— びわ湖・長浜のホトケたち —

琵琶湖の北部に位置する滋賀県長浜市には、古くから仏教文化が栄え、数多くの仏像が生み出されてきました。遊行僧行基、山岳修験者の泰澄、比叡山の開祖最澄らの伝承が各地に残り、奈良時代後期から近世にいたるまで質量ともに豊富な仏像が伝存しています。中世以降に戦乱や災害で多くの寺院が廃絶した後も、村落の人々によってお像が守られ現在まで維持されていることは、この地域の最大の特色といえましょう。平成26年春に引き続き「観音の里の祈りとくらし」と銘打った本展では、堂外初公開となる作例を含む古代から近世までの観音像と諸仏、懸仏や絵図などを加え、さらに広く、さらに重層的に、この地域の文化と美術をご紹介します。

第1章 観音像と村人たち

すぐれた古像が集中し、湖北の代名詞ともなっている観音菩薩像の作例を、像を守り伝える人々の暮らしとともにご紹介します。姿かたちも様々な、優美にして個性的な観音像が勢揃いいたします。



十一面観音立像(医王寺)
平安時代 重要文化財



千手千足観音立像(正妙寺) 江戸時代

第3章 村人が伝えた仏たち

中世以降、村落の自治および祭礼の中心として大きな役割を果たしてきた諸仏や貴重な中世の惣村文書などを出品。湖岸の集落菅浦や、琵琶湖に浮かぶ竹生島の、今に引き継がれる信仰のありようをご覧ください。



弁才天坐像(宝蔵寺) 室町時代
長浜市指定文化財

第2章 信仰に彩られた仏たち

比叡山(天台宗)の隆盛、浄土真宗を中心とした阿弥陀信仰の高まり、真言密教の影響など、平安時代中期以降には多彩な造像の展開がありました。観音像だけにとどまらない、様々な仏の姿にご注目下さい。



光明本尊(法光寺)
南北朝時代末~室町時代初頭
長浜市指定文化財



愛染明王坐像(舎那院) 鎌倉時代
重要文化財



伝薬師如來立像(充滿寺)
平安時代
重要文化財

【関連イベント】

ギャラリートーク

担当学芸員によるギャラリートークを行います。(講師等の詳細はホームページをご覧ください。)

第1回：7月9日(土)

第2回：7月16日(土)

第3回：7月23日(土)

第4回：7月30日(土)

※各回午前11時と午後4時から
約20分程度。

※参加をご希望の方は、開始時間に
3階展示室にお集まりください。

【観覧料】

一般1,200円(1,000円) 高校・大学生700円(600円)

※中学生以下は無料 ※障害者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料
※()は20名以上の団体料金 ※団体観覧者20名につき1名の引率者は無料
※観音の里の祈りとくらし展Ⅱをご覧のお客様は、当日に限り同時開催
「平櫛田中コレクション展」を無料でご覧いただけます。

同時開催 平櫛田中コレクション展

2016年7月5日(火)~8月7日(日)

主催：東京藝術大学 会場：東京藝術大学大学美術館 地下2階 展示室2



東京藝術大学大学美術館

The University Art Museum, Tokyo University of the Arts

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

お問い合わせ先: 03-5777-8600 (ハローダイヤル) webサイト: <http://www.geidai.ac.jp/museum/>

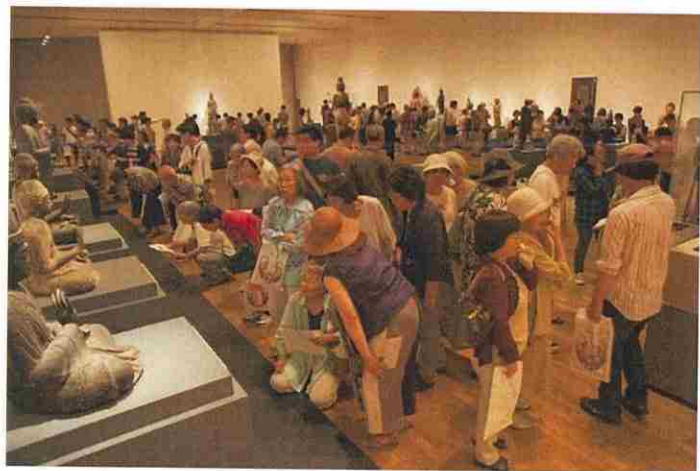
交通案内

JR上野駅(公園口)、東京メトロ千代田線根津駅(1番出口)より徒歩10分
京成上野駅(正面口)、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅(7番出口)より徒歩15分
JR上野駅公園口から台東区循環バス「東西めぐりん」(東京芸術大学経由)で4分、
停留所「東京芸術大学」下車(30分間隔)
駐車場はございませんので、お車のご来館はご遠慮ください。

観音の里の祈りと暮らし展 II 開催結果(速報)

— びわ湖・長浜のホトケたち —

会期	平成28年7月5日(火)～8月7日(日)
会場	東京藝術大学大学美術館[東京・上野公園]
主催	長浜市・東京藝術大学
入館者数	3万284人
出陳作品数	49点(仏像:42軀、古文書・絵画:7点)



岸田外務大臣・太田台東区議会議長 観覧



都市間連携を促す昭和三十四年巨 観覧

都会にも、ちか田舎

びわ湖・長浜米原 就活・暮らしナビ in 東京

※参加無料&予約不要

～都市に近く、自然も豊かな、琵琶湖のほitoriへようこそ～



京都まで、約 19 分。名古屋まで、約 22 分。

新大阪まで、約 35 分。東京まで、約 132 分。

※JR 米原駅から新幹線利用の時間。

切り絵・早川鉄兵

【日時】 2016年 7月1日(金) 16時00分～19時30分
7月2日(土) 13時00分～17時00分

【場所】 SHIBAURA HOUSE (東京都港区芝浦3-15-4)
※JR 田町駅芝浦口より徒歩7分 / 都営三田線・浅草線 三田駅 A4 出口より徒歩10分

【内容】

- ・就職面接会 (長浜・米原市内の企業)
- ・湖北地域への田舎暮らし相談会
- ・湖北の魅力パネル展示
- ・湖北での暮らしの魅力を語るトークセッション
- ・企業によるプレゼンテーション

【対象】

- ・平成29年3月に大学(院)、短期大学、高等専門学校、専門学校等を卒業予定の学生
- ・40歳代までの若年者等求職者

【MAP】



びわ湖・長浜米原
就活・暮らしナビ in 東京 WEB サイト
<http://nagahama-maibara.info/>

【主催】 湖北就活ナビ実行委員会 (長浜市、米原市)

【お問い合わせ先】 滋賀県長浜市役所 商工振興課 (TEL 0749-65-8766)
滋賀県米原市役所 商工観光課 (TEL 0749-58-2227)

びわ湖・長浜・米原就活・暮らしナビ in 東京 トークイベント概要

「これからの地方の働き方と湖北暮らしの楽しみ方」

日時 2016年 7月2日(土) 15:30～16:40

〇15:30～16:00

第1部 ゲストトーク

「地域に入る3つのステップ。好きなまちとのお縁の築き方」

「数年以内に地域に戻りたい」。そう考える首都圏の若手社会人が増えてきています。一方で「仕事がない」、「家がない」等が課題となり、踏み切れる人は多くはありません。地域に飛び込んだ人たちが、それぞれの課題を解決するために行ってきた3つのステップ「①地域を知る。②東京に居ながら、地域に仕掛ける。③地域に飛び込む！」について事例を交えて紹介します。



ゲストスピーカー 川口 枝里子

株式会社 DKdo 取締役

NPO 法人 ETIC. ローカル・イノベーション事業部 コーディネーター

【プロフィール】

1988年生まれ。北海道生まれ北海道育ち。

大学まで北海道で過ごす。大学を休学して、東京にてある企業の新規事業部でビバレッジ輸入事業の立ち上げに従事後、地域活性・人材育成を行う NPO 法人 ETIC. に新卒で入社。

大手外資金融や行政と連携した学生向け地域人材育成プログラムの立ち上げを行う。その後、地元・北海道にもっと貢献する仕事がしたいと思い、北海道活性のための事業を仕掛ける株式会社 DKdo を仲間たちと設立。取締役に就任する。現在は、DKdo と ETIC. の2つの法人に参画し、「ヒト・お金・スキル・想い」が東京から地域に送り込まれる事業に従事。「この土地が好きだから」という理由で地域に関わる人を増やすべく活動中。

〇16:00～16:40

第2部 トークセッション

「湖北を例に考える、地方での新しい働き方・暮らし方」

米原市の山間集落に移住、拠点をおきながら、切り絵作家として全国的に活躍する早川鉄兵さん。地元長浜市出身で、東京と長浜の2拠点で働き、居住している中山郁英さん。お二人の地方での働き方や暮らしの魅力をお聞きしながら、地方での新しい働き方・暮らし方を考えます。



ゲストスピーカー 早川鉄兵(米原市)、中山郁英(長浜市)

ファシリテーター 川口枝里子

【プロフィール】

早川鉄兵 (Iターン)

切り絵作家。石川県金沢市生まれ。小さいころに、母親と一緒に切り紙遊びをしたことをきっかけに切り絵を始める。滋賀県米原市の山間集落に拠点をおき日々出逢う自然や動物をテーマに制作活動をしている。精密な切り絵作品にとどまらず大掛かりなインスタレーションやライトアップを手がけるなど新しい切り絵表現の可能性を模索。

また、集落では区の役員を務めるなど、地域との関わりも大切にし、地域からの信頼も厚い。



中山郁英 (Uターン)

東京大学 i.school コミュニケーション・マネージャー

ながはま市民活動センター 市民活動支援コーディネーター

滋賀県長浜市生まれ。大学入学とともに東京へ。自動車会社にてマーケティング・商品企画業務に従事した後、外資系広報代理店コンサルタントを経て、現在は大学の研究員としてイノベーション教育に取り組む。地域に根ざした新しい価値を生み出す仕組みづくりや人材育成に興味があり、自ら実践していくことを目指している。

